

年間学習指導計画・評価計画 (算数 2 学年)

評価方法凡例 【行】行動観察 【発】発言・つぶやき 【ノ】ノート・作品 【テ】テスト

*「発展的な学習内容」を含む

<上巻>

	ねらい	学習活動	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆ ココアはいくつ (1 時間) p. 3~5	○算数への興味・関心を高めるとともに、学習の進め方について理解する。	・ $コ+コ+ア=15$ の式で、同じ文字が同じ数になるようにして、各文字にあてはまる数を考える。	・「ココアはいくつ」の問題に関心をもち、解決のしかたを考えたり話し合ったりしようとしている。 【行】【発】	・題意に沿った式について、既習の加法の学習などをもとに考えている。 【発】【ノ】 支援：同じ文字には同じ数があてはまることを、具体例を示して捉えられるようにし、それをもとにほかの式を考えられるようにする。		

1 表とグラフ (3 時間)	目 標	評価規準			
		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
	○身のまわりの数量を分類整理し、1次元表やグラフに表したり、よみ取ったりすることができる。D(3)	・簡単な表やグラフを用いて表すと、それぞれの大きさが比べやすくなるというよさに気づいている。 【行】【発】	・数量を分類整理する方法や、簡単な表やグラフを用いて表す方法を考えている。 【発】【ノ】 支援：表やグラフの例を示し、それをもとに考えられるようにする。	・身のまわりにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したりよみ取ったりすることができる。 【行】【ノ】【テ】	・簡単な表やグラフを用いた表し方やよみ方について理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
1	6 7		①身のまわりの数量を分類整理して、簡単な表やグラフに表すことができる。	・遊びごとの人数を調べ、簡単な1次元表にまとめたり、○を用いて絵グラフに表したりする。 ・表とグラフの特徴について調べる。		・数量を分類整理する方法や、簡単な表やグラフを用いて表す方法を考えている。	・1次元表や○を用いた絵グラフに表したり、よみ取ったりすることができる。	・1次元表や○を用いた絵グラフの表し方やよみ方を理解している。
1	8	学んだことをつかおう	②表やグラフをよみ取ることができる。	・クラス紹介のポスター(好きな給食調べ、生まれた月調べ)を見て、どんなことがよみ取れるかを話し合う。	・表やグラフに表すことのよさに気づいている。	・身のまわりの数量について、表やグラフからよみ取れることを考えている。		
1	9	まとめ	③基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「表とグラフ」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・1次元表や○を用いた絵グラフに表したり、よみ取ったりすることができる。	

2 時こくと時間 (4 時間)	目 標	評価規準			
		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
	○時刻や時間の意味、時間の単位「日、時、分」について知る。B(3)ア ○簡単な場合について、時刻や時間を求めることができる。B(3)	・日常生活の中で、必要な時刻や時間を求めようとしている。 【行】【発】	・必要な時刻や時間の求め方を考えている。 【発】【ノ】	・時間の単位「日、時、分」を用いることができる。 【行】【ノ】【テ】	・時間の単位「日、時、分」について知り、それらの関係を理解している。 【発】【ノ】【テ】 支援：模型時計を動かしながら理解できるようにする。

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
3	10 ～ 14		①時刻のよみ方, 時計のしくみ, 時刻と時間の意味, 時間の単位「時, 分」の関係を理解する。	・9時, 9時20分, 12時43分のような時刻をよんだり, 用いたりする。 ・時間の単位「時, 分」を知り, 1時間=60分間を知る。			・時計から時刻を正しくよむことができる。	・時刻と時間の意味を理解している。 ・時間の単位「時, 分」と単位の関係を理解している。
			②午前と午後, 正午の意味, 時間の単位「日, 時」の関係を理解する。	・1日の生活を調べることをとおして, 午前と午後, 正午, 1日=24時間を知る。 ・模型時計の文字盤などを使って, 簡単な場合について時刻や時間を求める問題を出し合う。		・簡単な場合について, 模型時計などを使って時刻や時間の求め方を考えている。		・午前と午後, 正午の意味, 時間の単位「日, 時」と単位の関係を理解している。
			③生活と関連づけて, 時刻や時間を表現できる。 [時こくのあらわし方] ・24時間制の表し方を知る。	・自分の1日の生活を紹介する中で, 時刻や時間を発表する。	・日常生活の中で, 時刻や時間を表したり求めたりしようとしている。		・時間の単位「日, 時, 分」を用いて, 時刻や時間を表すことができる。	
1	15	まとめ	④基本的な学習内容の理解を確認し, 定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「時こくと時間」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・時間の単位「日, 時, 分」を用いて, 時刻や時間を表すことができる。	・時間の単位「日, 時, 分」と, それらの関係, 午前と午後の意味を理解している。

		目 標	評 価 規 準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
3	たし算 (9時間)	○2位数+2位数=2位数の加法計算のしかたを, 1位数などの基本的な計算をもとに理解する。A(2)ア ○加法の筆算のしかたについて知り, 2位数+2位数=2位数の計算が確実にできる。A(2)ア ○加法の交換法則や結合法則について知り, 計算の確かめや工夫に用いることができる。A(2)ウ ○()の意味や使い方を理解する。A(2)ウ	・2位数の加法計算のしかたを考えたり, 生活や学習に活用したりしようとしている。 【行】【発】	・2位数の加法計算のしかたを, 既習の計算や十進位取り記数法をもとに図や式などを用いて考えている。 【発】【ノ】 支援: 別な簡単な数値で, 具体物を用いたり, 図をかいたりして, 考えられるようにする。	・2位数の加法計算が確実にできる。また, 加法の式で必要な場合に, ()を用いることができる。 【ノ】【テ】	・2位数の加法計算が1位数などについての基本的な計算をもとにできることを理解し, 筆算のしかたについて理解している。また, 加法の交換法則, 結合法則が成り立つことを理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
8	16 ～ 28	(2けた+2けたの計算)	①②2位数+2位数で繰り上がりのない加法計算を理解し, 筆算ができる。	・場面絵を見て加法の問題を作り, 既習の計算を振り返ったり, 2位数でも加法ができるか考えたりする。 ・24+15のような, 2位数+2位数で繰り上がりのない加法計算のしかたを考える。 ・加法の筆算形式を知る。	・2位数の加法計算のしかたを考えようとしている。	・2位数+2位数で繰り上がりのない加法計算のしかたを, 既習の計算や十進位取り記数法をもとに図や式などを用いて考えている。		・2位数+2位数で繰り上がりのない加法計算のしかたや加法の筆算形式を理解している。
			③1位数+2位数で繰り上がりのない加法計算ができる。	・5+24のような, 1位数+2位数で繰り上がりのない加法計算のしかたを考える。		・1位数+2位数で繰り上がりのない加法の筆算のしかたを考えている。		・1位数+2位数で繰り上がりのない加法計算のしかたを理解している。
			④2位数+2位数で繰り上がりのある加法計算を理解し, 筆算ができる。	・28+17のような, 2位数+2位数で繰り上がりのある加法計算のしかたを考え, 筆算のしかたをまとめる。		・2位数+2位数で繰り上がりのある加法計算のしかたを考えている。		・2位数+2位数で繰り上がりのある加法計算のしかたを理解している。

		(たし算のきまり)	⑤⑥ 2位数+2位数=何十の計算, 2位数+1位数で繰り上がりのある加法計算ができる。 [友だちのノートを見てみよう] ・ノートには計算や答えだけではなく, 気がついたことや大切な考え方なども書いておくとよいことに気づく。	・49+31のような, 答えが何十になる加法計算や, 78+4のような, 加数または被加数が1位数の加法計算のしかたを考える。				・2位数+2位数=何十の計算, 2位数+1位数で繰り上がりのある加法計算のしかたを理解している。
			⑦ 加法の交換法則を理解する。	・15+8と8+15の答えを比べることをとおして, 加法の交換法則を知る。				・加法の交換法則が成り立つことを理解している。
			⑧ 加法の結合法則を用いた計算, ()を用いた式について理解する。	・15+6+4の答えの求め方を考える場面をおとして, ()の意味と使い方, 加法の結合法則を知る。			・加法の式に表す際, 必要な場合には, ()などを用いることができる。	・加法の結合法則が成り立つことや, ()の意味や使い方を理解している。
1	29 ~ 30	まとめ	⑨ 基本的な学習内容の理解を確認し, 定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「たし算」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・2位数の加法計算が確実にできる。	・2位数の加法の筆算のしかたを理解している。 ・加法の交換法則, 結合法則が成り立つことを理解している。

		ねらい	学習活動	評価規準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆	何人いるかな (1時間) p. 31	○重なりがある場合などの順序数の加法を理解する。	・ある子どもの位置が前から9番め, 後ろから6番めるとき全部で何人いるかを考え, 加法の式に表す。 ・ある子どもの前に8人, 後ろに4人いるとき全部で何人いるかを考え, 加法の式に表す。		・順序数の加法の場面を図やブロックを用いて表し, 計算のしかたを考えている。 【発】【ノ】 支援: 別な簡単な数値で, 具体物を用いたり, 図をかいたりして, 考えられるようにする。		・順序数の加法の場面で, 重なりや落ちがないように求めるしかたを理解している。 【発】【ノ】

		目標	評価規準					
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解		
4	ひき算 (8時間)	○2位数-2位数=2位数の減法計算のしかたを, 1位数などの基本的な計算をもとに理解する。A(2)ア ○減法の筆算のしかたについて知り, 2位数-2位数=2位数の計算が確実にできる。A(2)ア ○加法と減法の相互関係について知り, 計算の確かめに用いることができる。A(2)ウ, D(1)	・2位数の減法計算のしかたを考えたり, 生活や学習に活用したりしようとしている。 【行】【発】	・2位数の減法計算のしかたを, 既習の計算や十進位取り記数法をもとに図や式などを用いて考えている。 【発】【ノ】 支援: 別な簡単な数値で, 具体物を用いたり, 図をかいたりして, 考えられるようにする。	・2位数の減法計算が確実にできる。 【ノ】【テ】	・2位数の減法計算が1位数などについての基本的な計算をもとにできることを理解し, 筆算のしかたについて理解している。また, 加法と減法の相互関係について理解している。 【発】【ノ】【テ】		
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
6	32 ~ 41	(2けた-2けたの計算)	①② 2位数-2位数で繰り下がりのない減法計算を理解し, 筆算ができる。	・場面絵を見て減法の問題を作り, 既習の計算を振り返ったり, 2位数でも減法ができるか考えたりする。 ・38-15のような, 2位数-2位数で繰り下がりのない減法計算のしかたを考える。 ・減法の筆算形式を知る。	・2位数の減法計算のしかたを考えようとしている。	・2位数-2位数で繰り下がりのない減法計算のしかたを, 既習の計算や十進位取り記数法をもとに図や式などを用いて考えている。		・2位数-2位数で繰り下がりのない減法計算のしかたや減法の筆算形式を理解している。
			③ 2位数-1位数で繰り下がりのない減法計算ができる。	・47-3のような, 2位数-1位数で繰り下がりのない減法計算のしかたを考える。		・2位数-1位数で繰り下がりのない減法の筆算のしかたを考えている。		・2位数-1位数で繰り下がりのない減法計算のしかたを理解している。

		(計算のたしかめ)	④ 2位数－2位数で繰り下がりのある減法計算を理解し、筆算ができる。 ⑤ 2位数－2位数＝1位数の計算、2位数－1位数で繰り下がりのある減法計算ができる。 ⑥ 加法と減法の相互関係と答えの確かめのしかたを理解する。	・34－18のような、2位数－2位数で繰り下がりのある減法計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。 ・52－49のような、答えが1位数になる減法計算や、50－6のような、減数が1位数の減法計算のしかたを考える。 ・23－7＝16と16＋7＝23を比べることをとおして、加法と減法の相互関係を知り、計算の確かめに用いる。		・2位数－2位数で繰り下がりのある減法計算のしかたを考えている。		・2位数－2位数で繰り下がりのある減法計算のしかたを理解している。 ・2位数－2位数＝1位数の計算、2位数－1位数で繰り下がりのある減法計算のしかたを理解している。 ・加法と減法は互いに逆の関係になっているといった加法と減法の相互関係を理解している。
1	41	学んだことをつかおう	⑦身のまわりの事象を数理的に捉え、減法の学習などを活用して問題を解決することができる。	・値引きのある店とない店で、どの品物を買うときにどちらの店が安くなるかを言葉や式を使って説明する。	・減法の学習を日常生活に生かそうとしている。	・どの品物を買うときにどちらの店が安くなるかを言葉や式を使って説明している。		
1	42 ～ 43	まとめ	⑧基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「ひき算」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・2位数の減法計算が確実にできる。	・2位数の減法の筆算のしかたを理解している。 ・加法と減法の相互関係について理解している。

<input type="checkbox"/> 学習をふりかえろう①	○「表とグラフ」「時こくと時間」「たし算」「ひき算」の復習をする。	
p. 44		

		目 標		評 価 規 準				
時 数	頁	小単元	ねらい	学習活動	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
5	長さ(1) (8時間)		○長さの意味、単位と測定の意味について理解する。B(1) ○長さの単位「cm, mm」について知る。B(1)ア ○ものさしを用いて、長さを測定することができる。B(1) ○直線について理解し、定規を使って直線をかきことができる。C(1)		関心・意欲・態度 ・生活で用いられる長さに関心を持ち、身のまわりのものの長さを測定しようとしている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・普遍単位の必要性に気づき、長さの表し方を考えている。 【発】【ノ】 支援：もし、cmやmmの単位がなかったら、どんな不便さがあるかを考えさせ、普遍単位のよさや必要性を見いだせるようにする。	技能 ・長さの単位「cm, mm」を用いて、身のまわりのものの長さを測定したり、決まった長さの直線をかいたりすることができる。 【行】【ノ】【テ】	知識・理解 ・長さの単位「cm, mm」と測定の意味、単位の関係、ものさしの目盛りのしくみについて理解している。 【発】【ノ】【テ】
7	45 ～ 53	長さのあらわし方 (1cmよりみじかい長さ)	①②長さの意味、長さの単位「cm」、長さの測定(普遍単位)を理解する。	・同じ長さのしおりを作ることとおして、長さの比較・測定の意味について考える。 ・長さの単位「センチメートル(cm)」を知る。 ・目盛りテープを用いて長さを測る。	・身のまわりの長さに関心をもっている。	・普遍単位の必要性に気づき、長さの表し方を考えている。		・長さの単位「cm」と測定の意味を理解している。
			③身のまわりのものの長さについて量感をもつ。	・指をおよそ10cmに広げているいろいろなものの長さを調べ、目盛りテープで確かめる。				・指を広げた長さをもとにいろいろなものの長さを調べるなど、長さの大きさについての感覚をもっている。
			④長さの単位「mm」と単位の関係、ものさしの機能と使い方を理解する。	・はがきの縦の長さを測る活動とおして、長さの単位「ミリメートル(mm)」を知り、1cm＝10mmを知る。 ・ものさしのしくみを知る。		・1cmより短いはしたの長さを表す必要から、cmより小さな単位があると便利であることを考えている。		・長さの単位「mm」を知り、1cm＝10mmの関係を理解している。 ・ものさしの目盛りのしくみを理解している。

		(長さの計算)	⑤身のまわりのものの長さをものさしで測定することができる。	・ものさしを用いて身のまわりのものの長さを測る。	・身のまわりのものの長さをものさしで測定しようとしている。		・ものさしを用いて長さを測定し、何 cm 何 mm と表すことができる。	・長さの大きさについての感覚をもっている。
			⑥直線の意味とかき方を理解する。 [算数メモ]* ・曲がった線を曲線ということを知る。	・直線について知る。 ・直線のかき方を知る。			・決まった長さの直線をかくことができる。	・直線の意味とかき方を理解している。
			⑦長さについても加法性が成り立つことを理解する。	・折れ曲がった線の長さを調べることとおして、長さは加減計算ができることを知る。			・複名数で表された長さの加減計算ができる。	・長さは加減計算できることを理解している。
1	54 ～ 55	まとめ	⑧基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。 [長さが書かれているものを見つけよう] ・身のまわりから cm, mm が書かれているものを探す。	・単元のまとめをする。		・「長さ(1)」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・ものさしを用いて長さを測定することができる。 ・簡単な長さの加減計算ができる。 ・適切な長さの単位を選ぶことができる。	・長さの単位「cm, mm」と単位の関係、ものさしの目盛りのしくみを理解している。 ・直線の意味とかき方を理解している。

		目 標	評 価 規 準			
6	100 より大きい数 (12 時間)	○同じ大きさのまとまりを作って数えることができる。 A(1)ア ○3位数について十進位取り記数法による表し方、よみ方、数の構成を理解する。A(1)イ ○数の相対的な大きさについて理解する。A(1)ウ ○1000 について知り、1000 までの数の大小、順序、系列を理解する。A(1)イ ○簡単な場合の3位数などの加法、減法の計算のしかたを考えることができる。A(2)イ	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
			・ものの個数を10や100のまとまりにして数えたり、数字を使って書いたりよんだりしようとしている。 ・身のまわりから、整数が使われている場面を見つけようとしている。 【行】【発】	・ものの個数を数え、図に表すなどして、十進位取り記数法のしくみによる数の表し方を考えたり、数の相対的な大きさを捉えたりしている。 【発】【ノ】 支援：100 までの既習の数の範囲の理解を確認し、10のまとまりから100のまとまりを作って数える活動をブロックなどを用いてさせる。 ・10や100をもとにして、簡単な場合の3位数などの加法、減法の計算のしかたを考えている。 【発】【ノ】	・3位数までの数について、書いたりよんだりすることができる。また、2つの数の大小関係を「>、<」を用いて簡潔に表すことができる。 ・簡単な場合の3位数などの加法、減法の計算ができる。 【ノ】【テ】	・3位数について、十進位取り記数法による数の表し方や、数の大小、順序、数の相対的な大きさについて理解している。 ・整数が身のまわりで広く使われていることを理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
9	56 ～ 67	数のあらし方	①②1000 未満の数のよみ方、表し方、3位数の構成と位取りのしくみ(百の位)を理解する。	・子どもの数を数えることとおして、10のまとまりから100のまとまりを作って数えることよいに気づく。 ・3位数の十進位取り記数法によるよみ方、表し方を知る。 ・百の位について知る。	・身のまわりのものを10や100のまとまりにして数えようとしている。	・100までの数の既習事項や、ものの個数を実際に数える活動をもとに、3位数の表し方を考えている。	・3位数までの数について、書いたりよんだりすることができる。	・百の位について知り、3位数のよみ方、表し方を理解している。
			③空位のある3位数のよみ方、表し方を理解する。	・305のような空位のある3位数のよみ方、表し方を知る。				・空位のある3位数のよみ方、表し方を理解している。
			④1000 未満の数の大小比較のしかたを理解する。	・赤組、白組、青組の点数を比べることとおして、3位数の大小比較のしかたを考える。 ・記号「>、<」を知る。	・3位数のしくみをもとに、大小比較のしかたを考えている。	・数の大小関係を「>、<」を用いて簡潔に表すことができる。	・1000までの数の大小を理解している。	

		(10 がいくつ) (千)	⑤数直線での3位数の位置、順序、系列、大小について理解する。 [算数メモ]* ・数の線のことを数直線ということを知る。	・数直線(数の線)で目盛りがどんな数を表しているかを調べ、数を位置づけたり、数の大小を比べたりする。				・数直線での3位数の位置、順序、系列、大小を理解している。
			⑥数の多様な見方をすることができる。	・位取り板や数直線を使って、数の多様な見方を考える。		・数を多様な見方で表している。		
			⑦数の相対的な大きさについて理解する。	・10を32個集めた数や、450は10を何個集めた数かを考える。		・何百何十の数について、10をもとにしていくつ分かを考えている。		・数の相対的な大きさを理解している。
			⑧1000のよみ方、書き方を理解し、1000以下の数の順序について理解する。	・ひよこの数を数えることをとおして、100を10個集めた数を千といい、1000と書くことや、999より1大きい数であることを知る。				・千について知り、1000のよみ方、書き方を理解している。
			⑨身のまわりで使われている数の役割に気づく。	・身のまわりで使われている3位数までの数を見つけて、その役割を考える。	・身のまわりの数に関心を持ち、どんなことを表していたり、役割があつたりするのかを調べようとしている。			・整数が身のまわりで広く使われていることを理解している。
2	68 〜 69	何十、何百の計算	⑩簡単な2位数+2位数=3位数の加法計算と、その逆の減法計算ができる。	・50+70, 120-30などの加法、減法の計算のしかたを10をもとにして考える。		・簡単な場合の3位数などの加減計算のしかたを、10をもとにして考えている。	・10をもとにした加減計算ができる。	
			⑪簡単な3位数までの加法、減法の計算ができる。	・300+400, 700-200, 430+20, 360-40などの加法、減法の計算のしかたを10や100をもとにして考える。		・簡単な場合の3位数などの加減計算のしかたを、10や100をもとにして考えている。	・10や100をもとにした加減計算ができる。	
1	70 〜 71	まとめ	⑫基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「100より大きい数」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・1000までの数を表したり、大小関係を「>、<」を用いて表したりすることができる。 ・簡単な場合の3位数などの加減計算ができる。	・3位数のよみ方、表し方を理解している。 ・1000までの数の大小を理解している。 ・千について理解している。

		目 標		評 価 規 準				
○ たし算とひき算の図 (2時間)		○加法と減法の相互関係を図や式に表すことができる。 D(1)		関心・意欲・態度 ・加法、減法の問題場面をテープ図や式に表して解決しようとしている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・加法と減法の相互関係をもとに、テープ図の見方やかき方を考えている。 【発】【ノ】 支援：問題場面をおはじきなどを用いて表し、それをもとに考えられるようにする。	技能 ・加法、減法の問題場面をテープ図や式に表すことができる。 【ノ】	知識・理解 ・加法と減法の相互関係を理解している。 【発】【ノ】	
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
2	72 〜 75		①加法と減法のテープ図の見方やかき方を理解する。	・青いりんごが6個、赤いりんごが8個、あわせて14個ある場面で、テープ図と式を関連づけて捉え、加法と減法のテープ図の見方やかき方を知る。		・加法と減法の相互関係をもとに、テープ図の見方やかき方を考えている。		・加法と減法の相互関係を理解している。
			②加法や減法の問題場面をテープ図に表すことができる。	・買い物の場面で、加法や減法の問題をテープ図や式に表して解決する。	・加法、減法の問題場面をテープ図や式に表して解決しようとしている。		・加法、減法の問題場面をテープ図や式に表すことができる。	

		目 標		評 価 規 準			
7	たし算とひき算 (8時間)	○2位数+1・2位数=百何十何の繰り上がりのある加法計算のしかたを理解し、計算が確実にできる。A(2)ア ○百何十何-2位数=1・2位数の繰り下がりのある減法計算のしかたを理解し、計算が確実にできる。A(2)ア ○簡単な場合について、3位数+1・2位数、3位数-1・2位数の計算ができる。(百の位への繰り上がり、百の位からの繰り下がりなし) A(2)イ		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
				・百の位への繰り上がりのある加法や、百の位からの繰り下がりのある減法の計算のしかたを考え、生活や学習に活用しようとしている。 【行】【発】	・百の位への繰り上がりのある加法や、百の位からの繰り下がりのある減法の計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。 【発】【ノ】 支援：別な簡単な数値で、具体物を用いたり、図をかいたりして、考えられるようにする。 ・簡単な場合について、3位数などの加法、減法の計算のしかたを考えている。 【発】【ノ】	・2位数+1・2位数=百何十何、百何十何-2位数=1・2位数の計算が確実にできる。 【ノ】【テ】	・百の位への繰り上がりのある加法や、百の位からの繰り下がりのある減法の筆算のしかたについて理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
3	76 ～ 80	百の位にくり上がるたし算	①2位数+2位数で百の位に繰り上がる加法計算を理解し、筆算ができる。	・43+29, 43-29のような、既習の加減計算を振り返る。 ・72+63のような、2位数+2位数で百の位に繰り上がる加法計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	・2位数+2位数で百の位に繰り上がる加法計算のしかたを考えようとしている。	・2位数+2位数で百の位に繰り上がる加法計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。		・2位数+2位数で百の位に繰り上がる加法計算のしかたを理解している。
			②2位数+2位数で繰り上がりが2回ある加法計算ができる。	・83+49のような、繰り上がりが2回ある加法計算のしかたを考える。		・2位数+2位数で繰り上がりが2回ある加法計算のしかたを考えている。		・2位数+2位数で繰り上がりが2回ある加法計算のしかたを理解している。
			③繰り上がって答えの十の位が空位になる加法計算、百の位への繰り上がりのない3位数+1・2位数の加法計算ができる。	・68+37や95+6のような、答えの十の位が0になる加法計算のしかたを考える。 ・百の位への繰り上がりのない3位数+1・2位数の加法計算のしかたを考える。	・百の位への繰り上がりのない3位数+1・2位数の加法計算のしかたを考えている。		・繰り上がって答えの十の位が空位になる加法計算のしかたを理解している。	
4	81 ～ 85	百の位からくり下がるひき算	④百何十何-2位数で百の位から繰り下がる減法計算を理解し、筆算ができる。	・125-73のような、百何十何-2位数で百の位から繰り下がる減法計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	・百何十何-2位数で百の位から繰り下がる減法計算のしかたを考えようとしている。	・百何十何-2位数で百の位から繰り下がる減法計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。		・百何十何-2位数で百の位から繰り下がる減法計算のしかたを理解している。
			⑤百何十何-2位数で繰り下がりが2回ある減法計算ができる。	・163-79のような、百何十何-2位数で繰り下がりが2回ある減法計算のしかたを考える。		・百何十何-2位数で繰り下がりが2回ある減法計算のしかたを考えている。		・百何十何-2位数で繰り下がりが2回ある減法計算のしかたを理解している。
			⑥百の位から波及的に繰り下がる減法計算ができる。	・104-37のような、百の位から波及的に繰り下がる減法計算のしかたを考える。		・百何-2位数で、百の位から波及的に繰り下がる減法計算のしかたを考えている。		・百の位から波及的に繰り下がる減法計算のしかたを理解している。
			⑦答えが1位数になる減法計算、百何-1位数=2位数の減法計算、百の位からの繰り下がりのない3位数-1・2位数の減法計算ができる。	・106-98のような、百何-2位数=1位数の減法計算や、103-6のような、百何-1位数=2位数の減法計算のしかたを考える。 ・百の位からの繰り下がりのない3位数-1・2位数の減法計算のしかたを考える。		・百の位からの繰り下がりのない3位数-1・2位数の減法計算のしかたを考えている。		・答えが1位数になる減法計算、百何-1位数=2位数の減法計算のしかたを理解している。
1	86 ～ 87	まとめ	⑧基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「たし算とひき算」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・2位数+1・2位数=百何十何、百何十何-2位数=1・2位数の計算が確実にできる。また、簡単な場合について、3位数+1・2位数、3位数-1・2位数の計算ができる。	・2位数+2位数=百何十何、百何十何-2位数=2位数の筆算のしかたを理解している。

		ねらい	学習活動	評価規準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆ 筆算をつくろう (1時間) p. 88	○数字カードを使った活動をとおして、筆算のしくみの理解を深める。	・筆算のしくみをもとに、決められた枚数の数字カードを使って正しい筆算の作り方を考える。			・筆算のしくみをもとに、決められた枚数の数字カードを使って正しい筆算の作り方を考えている。 【発】【ノ】		・数字カードを使った活動をとおして、筆算のしくみの理解を深めている。 【発】【ノ】

		ねらい	学習活動	評価規準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆ タングラム (1時間) p. 89	○図形に対する感覚を豊かにする。	・タングラムを用いた形作りをする。		・色板を並べ替えて、いろいろな形を作ろうとしている。 【行】【ノ】			・図形についての豊かな感覚をもっている。 【発】【ノ】

□ 学習をふりかえろう② p. 90	○「長さ(1)」「100より大きい数」の復習をする。						

		目 標	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
8 水のりょう (8時間)	○かさの意味、単位と測定の意味について理解する。B(2) ○かさの単位「L, dL, mL」について知る。B(2)ア ○簡単な場合について、かさを測定することができる。 B(2)		・生活で用いられるかさに関心をもち、身のまわりのかさを測定しようとしている。 【行】【発】	・普遍単位の必要性に気づき、かさの表し方を考えている。 【発】【ノ】 支援：長さの比較や測定のしかたを想起させ、それをもとに考えられるようにする。	・かさの単位「L, dL, mL」を用いて、身のまわりのかさを測定することができる。また、適切なかさの単位を選ぶことができる。 【行】【ノ】【テ】	・かさの単位「L, dL, mL」と測定の意味、単位の関係について理解している。また、かさの大きさについての豊かな感覚をもっている。 【発】【ノ】【テ】 支援：リットルますの使い方を確認し、多くの測定を経験させる。

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準				
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解	
6	91 ~ 98	かさのあらわし方 (リットル)	①かさの意味、かさの比べ方を理解する。	・2つの水筒に入っている水のかさを比べることをとおして、かさの比較・測定のしかたや意味について考える。		・かさの比較や測定について、長さの場合をもとにして考えている。		・かさの任意単位による測定の意味を理解している。	
			②かさの単位「L」を理解する。	・やかんとポットに入る水のかさを調べることとおして、かさの単位「リットル(L)」を知る。		・普遍単位の必要性に気づき、かさの表し方を考えている。		・かさの単位「L」を理解している。	
		(デシリットル)	③1L ますを使ってかさを測定することができる。	・1L ますを用いているいろいろな入れ物に入る水のかさを測る。	・身のまわりのかさを測定し、生活に生かそうとしている。		・かさの単位「L」を用いて、身のまわりのかさを測定することができる。		・かさの大きさについての豊かな感覚をもっている。
			④かさの単位「dL」と単位の関係を理解する。	・1L に満たない水のかさを調べることとおして、かさの単位「デシリットル(dL)」を知り、1L=10dLを知る。		・1L に満たない水の量を調べることとおして、1L を10 に分けた単位「dL」を作ることを見いだしている。		・かさの単位「dL」を知り、1L =10dL の関係を理解している。	

		(ミリリットル)	⑤かさの単位「mL」と単位 の関係を理解する。	・ジュースなどの入れ物に入る水の かさを調べることをとおして、かさ の単位「ミリリットル(mL)」を知り、 1 L=1000mL, 1 dL=100mLを知る。				・かさの単位「mL」を知り、1 L =1000mL, 1 dL=100mL の関係を 理解している。
		(かさの計算)	⑥かさについても加法性が 成り立つことを理解する。	・ポットとペットボトルの水のかさ の合計や差を求めることをとおして、 水のかさは加減計算ができること を知る。			・複名数で表されたかさの加減計 算ができる。	・水のかさも加減計算ができること を理解している。
1	99	学んだことをつかおう	⑦身のまわりの事象を数理的 に捉え、かさについての 学習などを活用して問題を 解決することができる。	・かさの計算を使って、節約できる 水のかさについて調べる。	・かさの計算を使って、節約でき る水のかさについて調べ、生活に 生かそうとしている。	・かさの計算を使って、節約でき る水のかさについて考えている。		
1	100	まとめ	⑧基本的な学習内容の理解 を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「水のりょう」の学習のよさや考 え方を振り返っている。	・簡単なかさの加減計算ができる。 ・適切なかさの単位を選ぶことが できる。	・かさの単位「L, dL, mL」と単位の 関係を理解している。

		ねらい	学習活動	評価規準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆	ロボットレース (1時間) p. 101	○直線の作図の習熟を図 る。	・じゃんけんをしながら、決められ た長さの直線をかいてゴールを目 ざすゲームに取り組む。			・ものさしを用いて直線を作図す ることができる。 【行】【ノ】	・直線の作図のしかたを理解して いる。 【発】【ノ】

		目 標	評価規準					
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解		
9	三角形と四角形 (10時間)	○具体的な活動をとおして、三角形や四角形について理 解する。C(1)ア ○三角形や四角形を、点を結んでかいたり紙を用いて作 ったりするなど、三角形や四角形についての基礎的な経 験を豊かにする。C(1)ア ○具体的な活動をとおして、直角、長方形、正方形、直 角三角形について理解する。また、辺、頂点について理 解する。C(1)イ ○方眼などを用いて長方形や正方形、直角三角形をかく ことができる。C(1)イ ○長方形、正方形、直角三角形を敷き詰めた模様を作っ て、平面の広がりや、図形の美しさに気づく。C(1)イ	・身のまわりから、三角形や四角 形、直角、長方形、正方形、直角 三角形を見つけようとしている。 ・長方形、正方形、直角三角形で 平面を敷き詰める活動を楽しみ、 できる模様の美しさや平面の広が りに気づいている。 【行】【発】	・三角形や四角形、長方形や正方 形について、図形の特徴を見いだ している。 【行】【発】【ノ】 支援：直角があるか、等しい長さ の辺があるかの観点を明確にして 考えられるようにする。	・紙を折って直角、長方形、正方 形、直角三角形を作ったり、方眼 などを用いて長方形、正方形、直 角三角形を作図したりすることが できる。 【行】【ノ】【テ】	・三角形や四角形、直角、長方形、 正方形、直角三角形の意味につい て理解している。 【発】【ノ】【テ】 ・長方形、正方形、直角三角形を 敷き詰めた模様を作って、平面の 広がりや、図形の美しさに気づく など、図形についての豊かな感覚 をもっている。 【行】【発】【ノ】		
時 数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
9	102 ~ 114		①②三角形、四角形の意味、 三角形、四角形の観察、平 面図形の構成要素(辺、頂 点)を理解する。	・点と点を直線で結んで動物を囲 み、直線の本数に着目して、できた 形の仲間分けをする。 ・3本の直線で囲まれた形を三角 形、4本の直線で囲まれた形を四角 形ということを知る。 ・辺、頂点の意味や、三角形、四角 形の辺、頂点の数について知る。		・点と点を直線で結んでできた形 について、直線の本数に着目して 仲間分けを考えている。		・三角形、四角形の意味や、辺、 頂点の意味を理解している。

		(直角)	③三角形、四角形を構成することができる。 [三角形や四角形を見つけよう] ・身のまわりから三角形や四角形のものを探す。	・三角形の紙を2つに切っているいろいろな三角形や四角形を作る。	・身のまわりから、三角形や四角形を見つけようとしている。		・三角形からいろいろな三角形や四角形を作ることができる。	
		(長方形と正方形)	④直角の意味を理解する。	・はがきなどのかどにぴったり重なる形を紙を4つに折って作ることをとおして、直角について知る。	・身のまわりから、直角を見つけようとしている。			・直角の意味を理解している。
		(直角三角形)	⑤長方形の意味、性質、辺の相等関係を理解する。	・紙の端を折って四角形を作ることとおして、長方形について知る。		・直角や辺の相等関係に着目して、長方形の特徴を見いだしている。		・長方形の意味を理解している。
			⑥正方形の意味、性質、辺の相等関係を理解する。 [長方形や正方形を見つけよう] ・身のまわりから長方形や正方形のものを探す。	・長方形の紙を折って、短辺の長さにそろえて切った図形を調べることとおして、正方形について知る。	・身のまわりから、長方形や正方形を見つけようとしている。	・直角や辺の相等関係に着目して、正方形の特徴を見いだしている。		・正方形の意味を理解している。
			⑦直角三角形の意味、性質を理解する。	・長方形や正方形の紙を半分に切った図形を調べることとおして、直角三角形について知る。 ・三角定規は直角三角形であることを知る。				・直角三角形の意味を理解している。
		(もよう作り)	⑧長方形、正方形、直角三角形の方眼を用いた作図ができる。	・方眼を使って長方形、正方形、直角三角形を作図する。			・方眼を用いて、長方形、正方形、直角三角形を作図することができる。	・長方形、正方形、直角三角形の意味を理解している。
			⑨長方形、正方形、直角三角形を敷き詰めた模様を作って、平面の広がりや、図形の美しさに気づく。	・折り紙で作った長方形、正方形、直角三角形を敷き詰めた模様を作る。	・長方形、正方形、直角三角形を敷き詰めた模様を作って、平面の広がりや、図形の美しさに気づいている。			・長方形、正方形、直角三角形をきまりに従って並べ、美しい模様を作るなど、図形についての豊かな感覚をもっている。
1	115 116	まとめ	⑩基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。 [算数メモ]* ・5本の直線で囲まれた形を五角形ということを知る。	・単元のまとめをする。		・「三角形と四角形」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・方眼を用いて、長方形、正方形、直角三角形を作図することができる。	・三角形や四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形の意味を理解している。

<下巻>

		目 標	評 価 規 準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
10	かけ算 (20 時間)	○基準量のいくつ分かにあたる量を求めることをとおして、乗法の用いられる場合について理解する。また、数の乗法的な構成について理解する。A(1)エ, A(3)ア ○乗法の場面を式に表したり、式をよんだりすることができる。D(2) ○乗法に関して成り立つきまりを用いて、5, 2, 3, 4の段の九九を構成する。A(3)イ ○5, 2, 3, 4の段の九九の唱え方について知り、5, 2, 3, 4に1位数をかける計算が確実にできる。A(3)ウ	・乗法のよさに気づき、乗法を用いようとしている。また、進んで九九を構成しようとしている。 【行】【発】	・乗法が用いられる場面を具体物や図などを用いて考え、式に表している。また、5, 2, 3, 4の段の九九の構成のしかたを考えている。 【行】【発】【ノ】 支援：ブロックなどを用いながら九九を構成させるなど、具体的な活動をさせるようにする。	・乗法が用いられる場面を式に表したり、式をよみ取ったりすることができる。 ・5, 2, 3, 4の段の九九を確実に唱えることができる。 【行】【ノ】【テ】 支援：九九を唱える練習をゲーム形式で楽しく取り組めるようにするなど、毎日短時間であっても継続的に練習ができるようにする。	・乗法の意味や、乗法は累加で答えを求めることができることを理解している。 ・式に表したり、式をよみ取ったりすることをとおして、乗法が用いられる場面の数量の関係について理解している。(5, 2, 3, 4の段) 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
1 9	2 7 23	(5の段と2の段の九九)	①②乗法の意味, 乗法の式について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ人数ずつ乗っている乗り物の人数を調べることとおして, (基準量) × (いくつ分) の考え方を知る。 ・3人ずつ4台分で12人という場面を式で $3 \times 4 = 12$ と表し, 「かけ算」ということを知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・同じ数のまとまりに着目して, それがいくつあるかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法が用いられる場面を式に表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法が用いられる場面や乗法の意味, 「かけ算」の用語, 乗法の式を理解している。
			③乗法の意味の理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・おはじきをかけ算の式に合うように並べる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・乗法の式をよみ取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1つ分の数, いくつ分の意味を理解している。
			④乗法の答えの求め方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールが4個入った筒が3本あるときのボールの数を求めることとおして, 4×3 の乗法の答えは累加の式 $4 + 4 + 4$ で求められることを知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 4×3 の乗法の答えは, 累加の式 $4 + 4 + 4$ で求められることを考えている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・乗法は累加で答えを求めることができることを理解している。
			⑤身のまわりのものを乗法の式で表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教室や図書室など身のまわりでかけ算の式で表せるものを見つけ, 式や答えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりのものを乗法の式で表そうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・乗法が用いられる場面を式に表すことができる。 	
			⑥5の段の九九の構成をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・1箱5個入りのドーナツが何箱あるときのドーナツの数の求め方を考える。 ・図をもとに 5×1 から 5×9 の答えを求め, 5の段の九九を構成する。 ・ $5 \times 1 = 5$ を「五一が5」と唱え, このような唱え方を九九ということを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5の段の九九の構成に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・累加などによって5の段の九九の構成のしかたを考えている。 		
			⑦⑧5の段の九九に習熟する。	<ul style="list-style-type: none"> ・5の段の九九の唱え方を知り, 練習する。 ・5の段の九九を, カードを用いて練習する。(適宜 p. 20~21 の「九九カードであそぼう」も扱う。) 			<ul style="list-style-type: none"> ・5の段の九九を唱えることができる。 	
			⑨2の段の九九の構成をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・1パック2個入りのおにぎりが5パックあるときの個数を求めることとおして, 2の段の九九を構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2の段の九九の構成に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・累加などによって2の段の九九の構成のしかたを考えている。 		
		(3の段と4の段の九九)	⑩⑪2の段の九九に習熟する。	<ul style="list-style-type: none"> ・2の段の九九の唱え方を知り, 練習する。 ・2の段の九九を, カードを用いて練習する。(適宜 p. 20~21 の「九九カードであそぼう」も扱う。) 			<ul style="list-style-type: none"> ・2の段の九九を唱えることができる。 	
			⑫3の段の九九の構成をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・1パック3個入りのヨーグルトが4パックあるときの個数を求めることとおして, 3の段の九九を構成する。 ・かけられる数, かける数の意味を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3の段の九九の構成に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・答えがいくつずつ増えているかなどを用いて, 3の段の九九の構成のしかたを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけられる数, かける数の意味を理解している。 	
			⑬⑭3の段の九九に習熟する。	<ul style="list-style-type: none"> ・3の段の九九の唱え方を知り, 練習する。 ・3の段の九九を, カードを用いて練習する。(適宜 p. 20~21 の「九九カードであそぼう」も扱う。) 			<ul style="list-style-type: none"> ・3の段の九九を唱えることができる。 	
			⑮4の段の九九の構成をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・1箱4個入りのチョコレートが5箱あるときの個数を求めることとおして, 4の段の九九を構成する。 ・乗数が1増えると積はいくつ増えるかを調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4の段の九九の構成に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗数と積の関係などを用いて, 4の段の九九の構成のしかたを考えている。 		

		(かけ算のもんだいづくり) (九九カードであそぼう) (九九の表をつくらう)	⑯⑰ 4の段の九九に習熟する。	・4の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・4の段の九九を、カードを用いて練習する。(適宜 p.20~21の「九九カードであそぼう」も扱う。)			・4の段の九九を唱えることができる。	
			⑱ 乗法の式に合う作問をすることができる。	・場面絵から乗法の式で表せるものを見つけて問題を作る。	・身のまわりに乗法が用いられる場面が数多くあることに気づき、乗法を用いようとしている。			・乗法が用いられる場面や、乗法の意味を理解している。
			〇九九に習熟する。	・計算カードを用いたゲームで九九の計算練習をする。				
			⑲ 九九表のしくみと性質を見いだすことができる。	・九九表に2の段から5の段までの九九の答えを書き込む活動をとおして、九九表の見方を知る。 ・2の段から5の段まで書き込まれた九九表を見て、気づいたことを発表する。	・表を横に見たとき答えがいくつずつ増えているかなどの性質を、九九表を観察して見いだしている。		・九九表の見方を理解している。	
1	24 ~ 25	まとめ	⑳ 基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「かけ算」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・5, 2, 3, 4の段の九九を確実に唱えることができる。 ・乗法が用いられる場面を式に表したり、式をよみ取ったりすることができる。	・乗法の意味や、乗法は累加で答えを求めることができることを理解している。

		目 標	評 価 規 準			
11	かけ算九九づくり (17時間)	<p>〇乗法に関して成り立つきまりを用いて、6, 7, 8, 9, 1の段の九九を構成する。A(3)イ</p> <p>〇6, 7, 8, 9, 1の段の九九の唱え方について知り、6, 7, 8, 9, 1に1位数をかける計算が確実にできる。A(3)ウ</p> <p>〇数の乗法的な構成について理解し、問題場面を乗法を活用して解決できる。A(1)エ, A(3)アウ</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>・乗法について成り立つ性質やきまりを見つけ、進んで九九を構成しようとしている。 【行】【発】</p>	<p>数学的な考え方</p> <p>・乗数と積の関係、交換法則などをもとに九九の構成のしかたを考えている。 【行】【発】【ノ】 支援：ブロックの図などを用いながら九九を構成させるなど、具体的な活動をさせるようにする。</p>	<p>技能</p> <p>・6, 7, 8, 9, 1の段の九九を確実に唱えることができる。 【行】【ノ】【テ】 支援：九九を唱える練習をゲーム形式で楽しく取り組めるようにするなど、毎日短時間であっても継続的に練習ができるようにする。</p>	<p>知識・理解</p> <p>・式に表したり、式をよみ取ったりすることをとおして、乗法が用いられる場面の数量の関係について理解している。(6, 7, 8, 9, 1の段) ・倍はかけ算の式で表されることを理解している。 【発】【ノ】【テ】</p>

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
1 5	26 ~ 38	(6のだと7のだんの九九)	① 6の段の九九の構成をすることができる。	・九九づくりの図を用いて、乗法を表すしかたを考える。 ・6の段の九九を、乗数と積の増え方に着目して構成する。 ・6の段の九九を表にまとめる。	・6の段の九九の構成に取り組もうとしている。	・乗数と積の関係などを用いて、6の段の九九の構成のしかたを考えている。		
			②③ 6の段の九九に習熟する。	・6の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・6の段の九九を、カードを用いて練習する。			・6の段の九九を唱えることができる。	
			④ 7の段の九九の構成をすることができる。	・7の段の九九を、乗数と積の増え方に着目して構成する。 ・7の段の九九を表にまとめる	・7の段の九九の構成に取り組もうとしている。	・乗数と積の関係などを用いて、7の段の九九の構成のしかたを考えている。		
		(8のだと9のだんの九九)	⑤⑥ 7の段の九九に習熟する。	・7の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・7の段の九九を、カードを用いて練習する。			・7の段の九九を唱えることができる。	
			⑦ 8の段の九九の構成をすることができる。	・8の段の九九を工夫して構成する。 ・8の段の九九を表にまとめる。	・8の段の九九の構成に取り組もうとしている。	・乗数と積の関係や交換法則などを用いて、8の段の九九の構成のしかたを考えている。		
			⑧⑨ 8の段の九九に習熟する。	・8の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・8の段の九九を、カードを用いて練習する。			・8の段の九九を唱えることができる。	

		(1のだんの九九) (かけ算と倍)	⑩ 9の段の九九の構成をすることができる。	・ 9の段の九九を工夫して構成する。 ・ 9の段の九九を表にまとめる。	・ 9の段の九九の構成に取り組みようとしている。	・ 乗数と積の関係や交換法則などを用いて、9の段の九九の構成のしかたを考えている。		
			⑪⑫ 9の段の九九に習熟する。	・ 9の段の九九の唱え方を知り、練習する。 ・ 9の段の九九を、カードを用いて練習する。			・ 9の段の九九を唱えることができる。	
			⑬ 1の段の九九の構成をすることができる。	・ 1の段の九九を構成する。 ・ 1の段の九九を表にまとめる。 ・ 1の段の九九の唱え方を知り、練習する。			・ 1の段の九九を唱えることができる。	
			⑭ 倍概念の基礎を理解する。	・ 4cmの2つ分のことを2倍ということを知り、倍はかけ算の式で表されることを知る。 ・ もとの長さを自分で決めて、その3倍の長さのテープを作る。			・ もとの長さの□倍の長さを作ることができる。	・ もとにする数量の□個分のことを□倍ということを理解している。 ・ 倍はかけ算の式で表されることを理解している。
			⑮ 1つの数の求め方を多様に考え、乗法についての理解を深める。	・ 箱に整列して入ったゼリーの数を、いろいろな式や図で表す。		・ 1つの数の求め方を九九を使って多様に考えている。		
1	39	学んだことをつかおう	⑯ 九九を活用して問題を解決し、乗法についての理解を深める。	・ 箱に入ったチョコレートの数を求めることをとおして、九九が適用できるように分割したり、移動したりする求め方を考える。		・ ものの数を求める場面で、九九が適用できるように分割したり移動したりするなどの工夫を考えている。		
1	40	まとめ	⑰ 基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・ 単元のまとめをする。		・ 「かけ算九九づくり」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・ 6, 7, 8, 9, 1の段の九九を確実に唱えることができる。 ・ 乗法が用いられる場面を式に表し解決することができる。	

		目 標		評 価 規 準				
12 長さ(2) (6時間)		○長さの単位「m」について知る。B(1)ア ○1mものさしを用いていろいろなものの長さを測定することができる。B(1)		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解	
				・ 生活で用いられる長さに関心をもち、身のまわりの長さを測定しようとしている。 【行】【発】	・ 長さの単位「m」の必要性に気づき、長さの表し方を考えている。 【発】【ノ】 支援：もし、mの単位がなかったら、どんな不便さがあるかを考えさせ、よさや必要性を見いだせるようにする。	・ 長さの単位「cm, m」を用いて、身のまわりの具体物の長さを測定することができる。また、測定するものに応じて、適切な長さの単位を選ぶことができる。 【行】【ノ】【テ】 支援：1mものさしの使い方について確認し、測定の経験を多く積むことができるようにする。	・ 長さの単位「m」と測定の意味、単位の関係について理解している。また、長さの大きさについての豊かな感覚をもっている。 【行】【ノ】【テ】	
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
5	41 ~ 46		①長さの単位「m」と単位の関係を理解する。	・ 両手を広げた長さを測る活動をとおして、長さの単位「メートル(m)」を知り、1m=100cmを知る。		・ 大きな長さを表す必要から、cmより大きい単位があると便利なことを考えている。		・ 長さの単位「m」を知り、1m=100cmの関係を理解している。
			②「何m何cm」の複名数を理解する。	・ 1mのものさし4つ分とあそ半分の長さを、4m50cmと複名数表記をする。また、それが何cmといえるかを考える。			・ ものさしを用いて長さを測定し、何m何cmと表すことができる。	
			③1mの量感をもつ。	・ 自分の体で1mがどのくらいかを調べ、それをもとにいろいろなものの長さを予想してから実際に測定をする。	・ 身のまわりのものの長さをものさしで測定しようとしている。		・ ものさしを用いて長さを測定し、適切な長さの単位を用いて表すことができる。	・ 1mがどのくらいの長さであるかを捉えるなど、長さについての豊かな感覚をもっている。
			④m単位の長さについても加法性が成り立つことを理解する。 ・ 1m80cm+40cm=2m20cmの計算*	・ たんすの高さを1m50cm+30cm=1m80cmと求めることをとおして、長さがmで表されている場合も加減計算ができることを知る。			・ 複名数で表された長さの加減計算ができる。	

			⑤長さの学習を活用して、測定などの活動を行うことができる。	・紙テープに目盛りをつけて1mより長いものさしを作り、身のまわりのものの長さを測る。	・身のまわりのものの長さを、紙テープで作ったものさしを用いて測ろうとしている。			・長さについての豊かな感覚をもっている。
1	47	まとめ	⑥基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「長さ(2)」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・簡単な長さの加減計算ができる。	・長さの単位「m」と単位の間接関係を理解している。

		ねらい	学習活動	評価規準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆	九九のもよう (1時間) p. 48	○九九の答えの一の位の数字の規則性に気づき、九九についての理解を深める。	・円上に書かれた数字を九九の答えの一の位の数字の順に直線で結んで、模様をかく。		・九九の答えの一の位の数字の変わり方の規則性を見いだしている。 【発】【ノ】		

		ねらい	学習活動	評価規準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆	数のめいろ (1時間) p. 49	○決められた和になる数の選び方を筋道立てて考える。	・いくつかの数を選んで、和が決められた数値になるように迷路を進む。	・数のめいろの活動に進んで取り組んでいる。 【行】【発】	・決められた和になる数の選び方を筋道立てて考えている。 【行】【発】		

□	学習をふりかえろう③ p. 50	○「たし算とひき算」「水のりょう」「三角形と四角形」「かけ算」「かけ算九九づくり」の復習をする。						
---	---------------------	--	--	--	--	--	--	--

		目 標	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
13	九九の表 (5時間)	○九九表の考察をとおして、乗数と積の関係や交換法則など乗法について成り立つ性質を理解する。A(1)エ, A(3)イ ○九九表を12まで拡張することができる。A(3)エ	・乗法について成り立つ性質やきまりを進んで見つけようとしている。 【行】【発】	・九九表を観察して、乗法についての性質を見いだしている。 支援：具体的な数値でいくつかの例を示し、それをもとに考えられるようにする。 【発】【ノ】 ・12までの2位数と1位数の乗法について、乗数と積の関係などをもとに計算のしかたを考えている。 【発】【ノ】	・1つの数をほかの数の積としてみることができる。 【ノ】【テ】	・乗数と積の関係や交換法則など乗法について成り立つ性質を理解している。 ・1つの数をほかの数の積としてみるなど、数についての豊かな感覚をもっている。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
4	51 〜 55		①乗数が1増えると積が被乗数の分だけ増えることを理解する。	・九九表を見て、九九のきまりについて学習したことや気づいたことを発表する。 ・どの段の九九も、乗数が1増えると積が被乗数の分だけ増えることを知る。	・九九表を見て、乗法について成り立つ性質を見つけようとしている。	・全ての段において、乗数が1増えると積が被乗数の分だけ増えることを見いだしている。		・乗数と積の関係を理解している。

			②乗法の交換法則を理解する。	・九九表の中に同じ答えがあることに気づき、乗法の交換法則を知る。		・交換法則など乗法について成り立つ性質を見いだしている。	・12を2×6, 3×4, 4×3, 6×2とみるなど、1つの数をほかの数の積としてみることができる。	・交換法則が成り立つことを理解している。 ・1つの数をほかの数の積としてみるなど、数についての豊かな感覚をもっている。
			③④九九表を拡張する方法を考えることができる。 [算数メモ]* ・10×10, 10×11, 10×12の答えの求め方を考える。	・4×10, 4×11, 4×12, 10×4, 11×4, 12×4の答えの求め方を考え、九九表を12まで広げる。		・12までの2位数と1位数の乗法について、乗数と積の関係などをもとに計算のしかたを考えている。		
1	56	まとめ	⑤基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。 [2つのだんの九九をたして] ・3の段の九九と5の段の九九を合わせると、8の段の九九になることに気づく。	・単元のまとめをする。		・「九九の表」の学習のよさや考え方を振り返っている。		・乗数と積の関係や、乗法の交換法則を理解している。

		目 標		評 価 規 準				
14 はこの形 (6時間)		○身のまわりの箱の形をしたものを観察したり、面を写し取ったり、構成したりする活動をとおして、立体図形を構成する要素に着目する。C(1)ウ		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解	
				・身のまわりから箱の形をしたものを見つけたり、長方形や正方形を組み合わせて箱の形を構成したりしようとしている。 【行】【発】	・箱の形について、その違いに気づき分類し、箱の形の特徴を見いだしている。また、写し取った面の形を使って、箱の形の面のつながり方を考えている。 【行】【発】【ノ】 支援：写し取った面の例を示す。面をつなげて箱を作る際には、セロハンテープで仮止めして、試行錯誤できるようにする。	・長方形や正方形を組み合わせて、箱の形を構成することができる。 【行】【ノ】	・箱の形の構成要素（面、辺、頂点）や、それらの形や数について理解している。 【発】【ノ】【テ】	
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
4	57 ～ 60		①箱の形をしたものの観察、構成をし、立体図形の構成要素（面）について理解する。	・空箱に紙を貼ってきれいな箱を作る活動をとおして、直方体や立方体の面の形を紙に写し取って考察し、面の形や数について調べる。	・身のまわりから箱の形をしたものを見つけようとしている。	・箱の形について、面に着目して、その特徴を見いだしている。		・箱の形の面の意味や、その形や数を理解している。
			②③展開図の基礎的な理解をする。	・面を写した形をつなげて箱を組み立てることをとおして、直方体や立方体の面のつながり方を調べる。	・長方形や正方形を組み合わせて箱の形を構成しようとしている。	・写し取った形を使って、箱の形の面のつながり方を考えている。	・面を写し取った長方形や正方形をつなぎ合わせて箱の形を構成することができる。	
			④立体図形の構成要素（辺、頂点）について理解する。	・ひごと粘土玉で作った箱の形を観察することをとおして、箱の形の辺、頂点を知り、それらの数について調べる。		・箱の形の辺、頂点の数を考えている。		・箱の形の辺、頂点の意味や、それらの数を理解している。
1	61	学んだことをつかおう*	⑤立方体の展開図を組み立てたときに向かい合う面を考え、立体図形と平面図形の関係について理解を深める。	・さいころの展開図を見て、向かい合う目の数が7になるような目の配置を考える。また、おもしろいさいころを工夫して作る活動をする。		・さいころの展開図を見て、組み立てたときに向かい合う面を考えている。		
1	62	まとめ	⑥基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「はこの形」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・面や辺の形や数を、辺の長さに着目して調べることができる。	・箱の形の構成要素（面、辺、頂点）や、それらの形や数を理解している。

		目 標	評 価 規 準			
15	1000 より大きい数 (7時間)	○4位数について十進位取り記数法による表し方, よみ方, 数の構成を理解する。A(1)アイ ○数の相対的な大きさについて理解する。A(1)ウ ○10000について知り, 10000までの数の大小, 順序, 系列を理解する。A(1)イ ○100をもとにした加法の計算ができる。A(2)イ	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
			・ものの個数を1000のまとまりにして数えたり, 数字を使って書いたりよんだりしようとしている。 【行】【発】	・ものの個数を数え, 図に表すなどして, 十進位取り記数法のしくみによる数の表し方を考えたり, 数の相対的な大きさを捉えたりしている。 【発】【ノ】 支援: 3位数までの既習の数の範囲の理解を確認し, 数の範囲が広がっても数の表し方のしくみは同じであることを見いだすことができるようにする。 ・100をもとにした加法計算のしかたを考えている。 【発】【ノ】	・4位数までの数について, 書いたりよんだりすることができる。 【ノ】【テ】 支援: 位取り板や数直線のプリントを与え, それを用いて取り組めるようにする。 ・100をもとにした加法計算ができる。 【ノ】【テ】	・4位数について, 十進位取り記数法による数の表し方, 数の相対的な大きさなどについて理解している。また, 10000のよみ方, 書き方を理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
5	63 ～ 68	数のあらし方 (100がいくつ) (一万)	①10000未満の数のよみ方, 表し方, 4位数の構成と位取りのしくみ(千の位)を理解する。	・紙を数えることをとおして, 100のまとまりから1000のまとまりを作るとよいことに気づく。 ・4位数の十進位取り記数法によるよみ方, 表し方を知る。 ・千の位について知る。	・ものの個数を1000のまとまりにして数えようとしている。	・1000までの数で学習した十進位取り記数法のしくみをもとに, 4位数の表し方を考えている。	・4位数までの数について, 書いたりよんだりすることができる。	・千の位について知り, 4位数のよみ方, 表し方を理解している。
			②空位のある4位数のよみ方, 表し方を理解する。	・3025のような空位のある4位数のよみ方, 表し方を知る。				・空位のある4位数のよみ方, 表し方を理解している。
			③数の相対的な大きさについて理解する。	・100を23個集めた数や, 3400は100を何個集めた数かを考える。		・何千何百の数について, 100をもとにしていくつ分かを考えている。		・数の相対的な大きさを理解している。
			④10000のよみ方, 書き方, 10000以下の数の順序について理解する。	・チューリップの花を数えることをとおして, 1000を10個集めた数を一万といい, 10000と書くことや, 9999より1大きい数であることを知る。				・一万について知り, 10000のよみ方, 書き方を理解している。
			⑤数直線での10000までの数の位置, 順序, 系列について理解する。	・10000までの数を数直線の上に表し, 並び方などを調べる。				・数直線での10000までの数の位置, 順序, 系列について理解している。
1	69	何百の計算	⑥100をもとにした加法計算ができる。 [1200-500の計算]* ・1200-500のような計算のしかたを100をもとにして考える。	・700+500のような加法計算のしかたを100をもとにして考える。		・100をもとにした加法計算のしかたを考えている。	・100をもとにした加法計算ができる。	
1	70 ～ 71	まとめ	⑦基本的な学習内容の理解を確認し, 定着を図る。 [10000つぶってどれぐらい?] ・ご飯の10000粒が茶碗何杯分か知ること, 10000の量感をもつ。	・単元のまとめをする。		・「1000より大きい数」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・10000までの数を表すことができる。 ・100をもとにした加法計算ができる。	・4位数のよみ方, 表し方を理解している。 ・一万について理解している。

		ねらい	学習活動	評価規準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆	九九ジグソーパズル (1時間) p. 72	○九九の習熟と、乗法の性質の理解をする。	・九九表を分解して作ったジグソーパズルを完成させることをとおして、九九のきまりについての理解を深める。		・九九ジグソーパズルの解決のしかたを、九九のきまりなどをもとに考えている。 【行】【発】		・九九表の構成や九九のきまりを理解している。 【行】【発】

		目 標	評価規準				
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
16	図をつかって考えよう (5時間)	○加法逆減法の問題 ($a + \square = b$, $\square + a = b$) を解決することができる。D(1) ○減法逆加法の問題 ($\square - a = b$) を解決することができる。D(1) ○減法逆減法の問題 ($a - \square = b$) を解決することができる。D(1)		・加法逆減法, 減法逆加法, 減法逆減法の問題場面を図に表そうとしている。 【行】【発】	・加法逆減法, 減法逆加法, 減法逆減法の問題について, テープ図などを用いて数量の関係や式を考えている。 【発】【ノ】 支援: 別の類似の問題で, テープ図を用いた解決のしかたの例を示し, それをもとに考えられるようにする。	・加法逆減法, 減法逆加法, 減法逆減法の場面をテープ図などをもとにして式に表し解決することができる。 【ノ】【テ】	・加法逆減法, 減法逆加法, 減法逆減法の場面の意味をテープ図などをもとにして理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
4	73 ~ 78		①②加法と減法の相互関係について理解し, 加法逆減法の問題解決ができる。	・15人と17人を合わせて32人の場面を使って, 問題作りをする。 ・12人乗っているバスに何人が乗車したら28人になったときの乗車した人数を求める場面で, テープ図を手がかりに減法の式に表して求めるしかたを考える。(加法逆減法 $a + \square = b$ の場合)	・加法と減法の問題場面を図に表そうとしている。	・加法逆減法 ($a + \square = b$) の問題について, テープ図などを用いて数量の関係や式を考えている。		・加法逆減法の場面の意味をテープ図などをもとにして理解している。
			③減法逆加法の問題解決ができる。	・チョコレートを10個食べたあとで13個残っているときの初めにあったチョコレートの数を求める場面で, テープ図を手がかりに加法の式に表して求めるしかたを考える。(減法逆加法 $\square - a = b$ の場合)		・減法逆加法 ($\square - a = b$) の問題について, テープ図などを用いて数量の関係や式を考えている。		・減法逆加法の場面の意味をテープ図などをもとにして理解している。
			④減法逆減法の問題解決ができる。	・26cmのテープを何cmか使ったら17cm残ったときの使ったテープの長さを求める場面で, テープ図を手がかりに減法の式に表して求めるしかたを考える。(減法逆減法 $a - \square = b$ の場合)		・減法逆減法 ($a - \square = b$) の問題について, テープ図などを用いて数量の関係や式を考えている。		・減法逆減法の場面の意味をテープ図などをもとにして理解している。
1	79	まとめ	⑤基本的な学習内容の理解を確認し, 定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「図をつかって考えよう」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・加法逆減法, 減法逆加法, 減法逆減法の場面をテープ図などをもとにして式に表し解決することができる。	

□	学習をふりかえろう④ p. 80	○「長さ(2)」「九九の表」「はこの形」「1000より大きい数」「図をつかって考えよう」の復習をする。
---	---------------------	---

		目 標		評 価 規 準				
17 1を分けて (4時間)		○具体物を等分する活動をとおして、1/2, 1/4 など簡単な分数について知る。A(1)オ		関心・意欲・態度 ・折り紙などの具体物を等分する活動に取り組み、その大きさを表そうとしている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・2等分を1/2と表したことをもとに、2等分を更に2等分した大きさについて考えている。 【発】【ノ】	技能 ・具体物の1/2, 1/4などの大きさを作ることができる。 【行】【ノ】	知識・理解 ・1/2, 1/4などの簡単な分数について理解している。 【発】【ノ】【テ】	
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
3	81 ～ 84		①具体物を2等分することができる。	・折り紙を多様な切り方で2等分する。また、同じ大きさになっていることを確かめる。	・折り紙を2等分する活動に取り組みようとしている。		・具体物(折り紙)の1/2の大きさを作ることができる。	
			②1/2の大きさや等分の意味を理解する。	・紙テープの長さを2等分する活動をとおして、1/2の大きさや等分の意味を知る。	・紙テープを2等分した大きさを表そうとしている。		・具体物(紙テープ)の1/2の大きさを作ることができる。	・1/2のよみ方、書き方を理解している。 ・等分の意味を理解している。
			③1/4の大きさや分数の意味を理解する。また、1/8の大きさを知る。	・折り紙などを4等分する活動をとおして、1/4の大きさや分数の意味を知る。 ・もとの大きさの1/4, 1/8の部分に色を塗る。		・2等分を1/2と表したことをもとに、2等分を更に2等分した大きさについて考えている。	・1/2, 1/4などの大きさを表すことができる。	・1/2, 1/4などの数を分数ということを理解している。 ・1/8の大きさを知る。
1	85	まとめ	④基本的な学習内容の理解を確認し、定着を図る。	・単元のまとめをする。		・「1を分けて」の学習のよさや考え方を振り返っている。	・1/2, 1/4などの大きさを表すことができる。	・1/2, 1/4などの簡単な分数について理解している。

		目 標		評 価 規 準				
○ 算数をつかって考えよう (2時間)		○日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現することができる。 ○算数で学習したことを生活や学習に活用することができる。		関心・意欲・態度 ・生活や学習にかかわる問題について、既習事項を活用して問題を解決しようとしている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・算数の学習を活用して数理的な処理を工夫したり、筋道を立てて考えたり表現したりしている。 【発】【ノ】 支援：問題の条件からわかることや求めることを整理して考えられるようにする。また、解決にはどんな既習事項を用いるのか見通しをもたせるようにする。	技能	知識・理解	
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
2	86 ～ 87	(おつりのもらい方) (正方形を作ろう)	①②生活や学習にかかわる問題について、既習の知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。	・硬貨の枚数を少なくする代金の払い方を筋道を立てて考える。 ・長方形の紙から正方形を作ること、条件に着目しながら考える。	・既習事項を活用して問題を解決しようとしている。	・算数の学習を活用して数理的な処理を工夫したり、筋道を立てて考えたり表現したりしている。		

		ねらい		評 価 規 準			
☆ お楽しみ会で算数 (1時間) p. 88～89		○2学年の学習内容の問題を解決し、作問をすることができる。		関心・意欲・態度 ・生活の中には、算数が用いられている場面が数多くあることに気づき、活用しようとしている。 【行】【ノ】	数学的な考え方 ・場面絵から、これまでの学習内容に関連した問題を考えている。 【発】【ノ】	技能 ・場面絵から算数の問題を作り、その問題を解決することができる。 【ノ】	知識・理解

	ねらい	学習活動	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
<input type="checkbox"/> 2年のまとめ (4時間) p90～93	○2学年の学習内容のまとめをする。	・数と計算，はかり方，形，表とグラフ，式についての問題を解決する。			・2学年で学習した内容の問題を解決することができる。	・2学年の学習内容を理解している。

※「学習をふりかえろう」は，学校行事などを勘案して，予備時間を使って時間配当してください。